



旧料理旅館「杉風荘」でお  
わらを楽しむ研究舎のメン  
バー＝富山市八尾町鏡町

放庵の「八尾四季」に  
合わせた女踊り堪能

栃木の研究舎メンバー

おわらの名歌「八尾四季」  
を詠んだ文人画家、小杉放庵  
を顕彰する栃木県日光市の  
「小杉放庵研究舎」（柳原一

興主宰）のメンバー23人が3  
日、富山市八尾町中心部を訪  
れ、風の盆の情緒を満喫した。  
日光出身の放庵は、192

8年に八尾を訪れおわらを鑑賞し、八尾四季を創作。翌年には東京を拠点に活動していた舞踊家、若柳吉三郎が八尾四季を基に「四季の踊り（女踊り）」を振り付けた。

研究舎のメンバーの訪問は11度目。放庵が滞在した八尾町鏡町の旧料理旅館「杉風荘」を訪れ、鏡町おわら保存会による演舞を堪能。踊り手は八尾四季に合わせて女踊りを披露し、メンバーが心行くまでおわらを楽しんだ。